

エチレン-ビニルアルコール共重合樹脂

EVOH

(Ethylene vinyl alcohol copolymer)

| | |
|---------|--|
| 別名 | EVOH |
| 概要 | 1974年に日本合成化学工業の独自技術によって開発されたエチレン・ビニルアルコール共重合熱可塑性樹脂である。ガスバリア性樹脂の中でも極めて優れたガスバリア性能をもち、また、押出成形性にも優れていることから、食品・医薬品包装材として広く用いられている。さらに、その優れた特性を活かしてエンジニアリングプラスチックや繊維等、他の熱成形用途や他樹脂の改質剤としての用途も注目されている。 |
| 原料 | エチレン、酢酸ビニール |
| 製法 | エチレンと酢酸ビニールを高圧下に共重合し、これを鹸化する。過剰のアルカリを中和し、乾燥する。 |
| 荷姿 | 防湿袋 (25kg) |
| 規格 | |
| 性状 | 半透明白色ペレット。ガスバリア性、保香性、耐油性、耐薬品性、溶剤バリア性、表面光沢性に優れる。また剛性が極めて高く、非帯電性で摺動特性に優れる。 |
| 成形加工法 | 熔融成形(射出、押出、他) |
| 用途 | 食品包装材 (多層フィルム、ゼリーカップ、ケチャップボトル、ジュース用カートンボックスなど) 建 材 (プラスチック釘、壁紙、床暖房用パイプなど) 自動車関係 (多層燃料タンク) エンブラ (鋳物・アルミダイキャスト代替品、カードラジオのシャーシ、コピー機のトレイなど) |
| 製造・販売業者 | 日本合成化学工業 クラレ |
| 備考 | 既存化学物質 (6)-9 CAS No. 25067-34-9 26221-27-2 輸出(入)統計品番号 エチレンが多いもの 3901.90(3901.90)、 ビニルアルコールが多いもの 3905.91(3905.91) |